

地域福祉における 住民と地区内の専門職との連携について



豊岡市
みんなで考える
コミュニティの未来フォーラム
2024年3月3日(日)

コミュニティなかすじ まごころ部

まごころ部の紹介

支え合い楽しく暮らせる地区をめざす

運営体制

まごころ部員(行政区より3名選出)

まごころ部(福祉)2名
民生委員児童委員または民生・児童協力委員、福祉委員
まごころ部(健康)1名
健康推進員(豊岡市は廃止 中筋地区独自で設置)
※アドバイザー:豊岡市社会福祉協議会

中筋地区における福祉の課題

- ▷高齢者が増えてきている
- ▷地域で暮らし続けるにはどうすればよいか



里づくり計画 10年間の 目標と取組み事業

目標 1

福祉の困りごとが素早く関係機関に届く
仕組みができています

目標 2

地区全体で児童、障がい者、
高齢者の見守りができています

目標 3

車がなくても買い物、通院など生活が
できる仕組みができています

目標 4

住民一人ひとりが健康で、
地域とつながっている



まごころ部 事業

- ・情報交換・研修会
- ・日常生活見守り(助け合い)マップ更新
- ・区長・部員の情報共有・課題検討
- ・見守り活動
- ・あいさつ・声かけ運動
- ・買い物サービス等生活情報の広報
- ・ボランティアニーズ調査・人材育成・展開
- ・玄さん元気教室・サロン活動の啓発
- ・中山丘陵ハイキング
- ・三世代交流早起きラジオ体操
- ・健康・交流情報の広報活動
- ・敬老会の協力



まごころ部(福祉) 2023年度事業実績

▶まごころ部の活動には区長の協力が必要である

月	まごころ部(福祉)事業内容	月	まごころ部(福祉)事業内容
4月	第1回部会・福祉会議(部員、区長)・全体会議	11月	11(土) 文化まつり・敬老会準備協力 12(日) 文化まつり・敬老会協力 地域で暮らすためのお役立ち情報手渡し配布 (5回目) 地域で暮らすためのお役立ち情報全戸配布
4月 7月	日常生活 見守り(助け合い)マップの作成(各区) 救急医療情報キットの啓発(各区)	12月	里づくり計画 3年振り返り
7月	地区内にある医療・福祉施設関係者との意見交換会	1月	第3回部会・福祉会議(部員、区長、サロンお世話役) サロン交流会
7月	お元気ですか訪問対象者名簿提出(区長) (42人)	2月	次年度計画について
8月	第2回部会・福祉会議(部員、区長)	3月	民生委員児童委員意見交換会
9月	お元気ですか訪問月間(各区) 部長、副部長 12(日) 体育祭スタッフ会議 24(日) 体育祭準備協力 24(日) 体育祭協力		
通年	① 日々の見守り・声かけ活動 ② 困り事や課題を早期につなぐ(専門機関への相談)③ボランティアニーズの調査		

中筋地区内にある医療・福祉施設の方との意見交換会

2022年度/2023年度

きっかけは

▶地域で暮らすためのお役立ち情報紙 福祉・医療お役立ち情報

個人の困り事を直接連絡できるように各事業所の連絡先や役立ち情報・メッセージ(対応可能な事柄など)を添えてお役立ち情報で紹介した (2020年～)



意見交換会に参加いただいた施設

- ・吉田クリニック
- ・コスモス薬局中筋
- ・株式会社 ポポロ ポポロの杜豊岡
- ・社会福祉法人 北但社会福祉事業会
デイサービスセンター加陽いちごの里
- ・JAたじま生活福祉部 介護福祉課
豊岡介護センター

- ・民生委員児童委員

- ・豊岡市社会福祉協議会
地域福祉課 豊岡地域包括支援センター

コミュニティへの理解と協力が得られ
共同した取り組みへつながった

中筋地区内にある医療・福祉施設の方との共同の取り組み

吉田クリニック



▶健康講演会「感染症とのつきあい方」 2022年10月26日
～コロナ・インフルエンザ・感染性胃腸炎 正しい知識でおそれず対応～
新型コロナウイルス感染症の流行時期
中筋地区内外から41人が参加

▶お役立ち情報 2023年11月12日
「冬に注意したい健康トラブル」の監修
ヒートショック 感染症 低体温症
敬老会参加者に手渡し配布 全戸配布 11月25日



株式会社 ポポロ ポポロの杜豊岡



▶文化まつり・敬老会
施設利用者 観覧
2023年11月12日

▶福祉車両で文化まつりの送迎
2022年11月12、13日(作品展示会)
運転手、添乗者とも福祉サービスの経験者
8人が利用
(2021年は豊岡市社会福祉協議会の福祉車両で実施)



コスモス薬局中筋

▶健康チェック 2022年11月12日

▶血流チェック 2023年11月12日



まとめ

▶中筋地区内にある医療・福祉施設との意見交換会を開催した結果

- ▶まごころ部の活動を知ってもらうことができ、コミュニティなかすじの活動を共同しておこなえるようになった
- ▶専門職の視点から中筋地区の状況と課題を知ることができた
- ▶コミュニティなかすじと医療・福祉施設で地域課題や取り組みについて考えるきっかけとなった

今後の取り組み

▶地区内の専門職との連携を深め継続していく

- ▶将来起こりうる、住民の福祉活動だけでは難しい課題について、専門機関等と連携することで 解決に向けて取り組む体制をめざす



ご清聴ありがとうございました

